

## 実験動物技術研修会の対面形式での開催を終えて

令和4年度の九州地区の技術研修会は、令和4年9月10日（土）、11日（日）の二日間、15名の参加者（会員：4名、非会員：9名、学生：2名）のもと、熊本保健科学大学の実習室にて大きなトラブルもなく無事に終わることができました。ご協力頂きました熊本保健科学大学、日本実験動物協同組合九州支部、株式会社LSIメディアエンス、株式会社新日本科学、九動株式会社、株式会社ケーピーティーオリエンタルおよび日本エスエルシー株式会社の方々に心よりお礼申し上げます。

今回の技術研修会では、大きな変更点が2点ほどありました。まず1点目は完全な対面形式での開催が実に3年ぶりに行われた点です。ご存じのように新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、一昨年は対面形式ではない完全なオンラインでの開催、昨年は対面形式とオンライン形式を組み合わせたハイブリッドでの開催でした。したがって、久々の対面での開催は実際に実験動物に触れながらの指導ができたことから、受講生にとっても指導する講師の方々にとっても非常に新鮮で指導する甲斐のある研修会ではなかったかと考えています。

つぎに2点目ですが、実験動物概論（動物愛護管理法などの法律を含む我が国における実験動物に関する最新情報等を含む）を講義して頂く主任講師を、今年度より自然科学研究機構生理学研究所の浦野 徹先生から宮崎大学の越本知大先生にバトンタッチされた点です。今年度は、講師の引き継ぎもかねて、お二人の先生が来熊いただき、両先生に講義を行って頂きました。まだまだコロナ禍が継続している中で、お二人の先生にお会いでき、直接お二人の先生講義を実際に視聴できたことをとてもうれしく思います。

ところで、本技術研修会は、前身である日本実験動物協会（日動協）の通信教育の一環として15年実施され、その後、主催を日本実験動物技術者協会九州支部が引き継ぎ、今年で27回目を迎える歴史ある研修会です。その研修内容は、実験動物関連の我が国の最新情報を含む実験動物概論の講義、実験動物2級技術者の試験問題の解説、新旧の器材の展示と説明、マウス、ラット、ハムスター、モルモットおよびウサギを用いた保定方法から安楽死や解剖に至る実技・実習となっており、基本的に実験動物1級技術者試験を対象としたものではなく、あくまでも基礎的な内容を中心に構成されています。

このような研修内容に関する問題点としては、現在の基礎的な研修以外の高度な実験動物1級技術者を対象とした研修会についても開催に向けて検討しているのか？また、基礎的な技術においても、考え方も含め日々少しずつ変化していることから、日本実験動物協会や他の地域で行われている研修会内容の情報をどのような形で収集し、収集した情報をどのような形でこの研修会に反映させていくのか、またよりわかりやすい教材や資料の作成、例えば解剖の手順を示したビデオの作成など、教える側も努力していく必要があると考えています。

最後に、本研修会には、ありがたいことに毎年15名以上の参加希望をいただいています。この要望に応えるべく、上記の課題も少しずつでも解決できるように九州支部役員および講師とともども微力ながら努力していきたいと考えています。今後とも、九州地区における実験動物に関連する企業、大学および研究所に携わっている方々のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

開催日時	令和4年 年 9月 10日（土）～9月 11日（日）
開催場所	熊本保健科学大学
主任講師	浦野 徹 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所 研究力強化戦略室 特任教授、（獣医学博士）
講師*	越本 知大 宮崎大学 フロンティア科学総合研究センター センター長 教授、農学博士
	松本 珠美 熊本保健科学大学 医学検査学科 准教授、臨床検査技師
	野口 和浩 熊本大学大学院生命科学研究部、生体微細構築学講座 助教、臨床検査技師（医学博士）
	中村 直子 熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究部門
	進村 美穂 KMバイオロジクス株式会社（実験動物技術指導員）
	島津 伸也 株式会社LSIM安全科学研究所（実験動物技術指導員）
	若松 真矢 株式会社新日本科学（実験動物技術指導員）
	竹之上翔太 株式会社新日本科学（実験動物1級技術者）
	* 敬称略・順不同
協力機関**	日本実験動物技術者協会九州支部、日本実験動物協同組合九州支部、熊本大学生命資源研究・支援センター、熊本保健科学大学、九動株式会社、日本エスエルシー株式会社、日本クリア株式会社、株式会社ケーピーティーオリエンタル、株式会社LSIM安全科学研究所、株式会社新日本科学 * * 順不同

受講者数  
募集人員：16名（お申込者数：15名）  
受講者数：15名（実技協会員：1名、賛助・組合員：3名、非会員：9名、学生：2名）

受講費（テキスト代込み）  
会員（日本実験動物技術者協会、賛助・組合員）：7,000円  
非会員：15,000円  
学生：10,000円  
＜協力機関のご協力により、格安にて研修会の開催が実現しております＞

研修会使用動物種  
マウス（成獣及び幼若動物）・ラット・ハムスター・モルモット・ウサギ



九動株式会社、株式会社ケーピーティーオリエンタル、日本エスエルシー株式会社、日本クリア株式会社より無償にてご提供いただいております。  
ご支援誠にありがとうございます。

## 研修日程

1 日目 8:30～18:30

- ①開講式・オリエンテーション
- ②概論講義（浦野、越本）  
動物福祉、法規、環境条件の基準値、実験用動物の分類、遺伝及び微生物的統御の分類等
- ③動物スライド供覧（若松）
- ④展示物の説明（若松）
- ⑤ビニールアイソレータ（実物有り）と環境因子測定機器の説明（野口）
- ⑥実技講義（野口、中村、進村、島津、若松、竹之上）  
（検収、検疫、保定法、性別判定、観察、個体識別、体重測定、膣垢検査、投与、採血、麻酔法、安楽死法、解剖等）
- ⑦実技実習（野口、中村、進村、島津、若松、竹之上）  
（検収、検疫、保定法、性別判定、観察、個体識別、体重測定、膣垢検査等）
- ⑧質疑応答

2 日目 8:30～19:00

- ①実技実習（野口、中村、進村、島津、若松、竹之上）  
（採尿法、除毛法、投与、採血、麻酔法、安楽死法、解剖等）
- ②閉校式（修了証書授与含む）

